

題字：鹿嶋哲行さん

工芸会 たより

施設長就任にあたつて



施設長 福嶋 利明

このたび、七月一日付で工芸会ワークセンター施設長に就任いたしました。

私は、隣の施設の聴覚・言語障害者養護老人ホーム田尻苑の施設長を四年間経験し、その間に工芸会の行事に何度も参加したことはありますが、初めての経験となる障害者支援施設に勤務します。

このため、工芸会の生活のモットーである「自立」・「明朗」・「友愛」・「健康」・「感謝」を胸に刻み、利用者や保護者の皆様方、藤川前施設長（新常務理事）・職員からのご支援ご協力をいただきながら、利用者の方々に、より満足のいくサービスを提供し、「働く場・暮らしの場」で安全で安心して、楽しく生き生きとした生活を送つていただけるよう頑張つてまいり所存でございます。

現在、新型コロナウイルスで、様々な行事等が中止される中で、利用者や保護者の皆様には、大変なご不自由をかけておりますが、誰一人たりとも発症しないように、工芸会及び福岡ろうあ福祉会が一丸となって、代替え行事を開催するなど協力し頑張つておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

今後とも、前施設長同様に皆様方のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

役員・施設長就退任式



新常務理事 藤川 保正

前常務理事 竹田 豊

皆様との出会いは、私一生の宝物です。皆様が未永くお元気ありますように。ありがとうございます。

五年間の工芸会ワークセンターの施設長としての経験を生かし、ろくな福祉会の利用者の皆さんのが安心してかつ楽しく過ごせるよう、微力ながら尽力していきますので、よろしくお願ひします。

花見会



なごみ係生活支援員
安永 桂治



新型コロナウイルス感染症対策

①予防・対策

福岡市はようやく新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言も解除され、徐々に落ち着きを取り戻してきました。施設の方では二月より厚生労働省の指示により検温・消毒の徹底と外出や面会の制限を行い感染予防と対策を講じ何とか健康維持に努める事が出来ました。しかし、油断大敵。現在でもコロナウイルスの特効薬やワクチンは無く引き続き感染防止対策が必要です。利用者の皆さんも、テレビでおなじみの志村けんさんの計報や他の芸能人の感染のニュースを見る事で新型コロナウイルスの恐ろしさを感じられており、手洗いやうがい等感染予防に積極的に努められています。今後も健康に生活出来る事に感謝の気持ちを持ち、利用者と職員一丸となつて感染予防に努めてまいりたいと思います。

医務保健係長 池 恵利子

- 日常気を付けて
- 過ごす感染予防の
- 基本ポイント
- ・身体距離の確保
- ・マスクの着用
- ・手洗い
- ・3密の回避
(密集、密接、密閉)



マスクをしよう 手を洗おう

②利用者のみなさんの生活について

三月末からの数々の行事の延期や中止・・・。外出や面会の制限・・・。仕事が減った作業場もあり、利用者のみなさんにもいろいろと我慢をお願いしてきました。

みんなの楽しみの一つでもある買物支援や散策支援も今まで通りとはいかず、買物は職員の方で代行したり、散策はドライブのみで帰寮し、体育館でお弁当を食べたりしました。いつも違った雰囲気の中、会話も弾み、みなさん楽しそうに感じられていました。

外出も制限される中、休日の活動支援対策として、塗り絵や散歩、体育館を開放し散歩やエアロバイク・卓球を楽しんでいただきました。塗り絵には沢山の方が参加し、工芸会ロビーに展示しておりちょっとしたギャラリーとなつています。

自粛自粛の中でしたが、みなさん協力し合いながら元気に過ごされています。緊急事態宣言解除にはなりましたが、一気に元通りとはなりません。今後も引き続きコロナ感染症対策を行なながら、利用者みんなの充実した生活支援に努めたいと思っています。



③生産活動の変化

生産活動課では、四月中旬より新型コロナウイルス感染症による作業への影響を各係で分析し、生産活動課全体で把握したうえで対策を協議しています。今回、特に影響を受けている作業は、軽作業係で行っているお菓子の箱折り作業で受注が完全にストップしています。箱折り作業は三社と取引をしており、数種類のお菓子の箱折り作業を年間通して行っていました。軽作業係の利用者にとって箱折り作業は、全員で取り組める大切な作業です。それが国内外の移動自粛と観光の減少に伴い三月中旬頃から全くなくなり、六月中旬現在も未だに見通しが分からぬ状況です。しかし、新たに軽作業係でマスクの袋詰め作業、縫製係では取引先の大学・短大よりマスクの製作依頼があり、これまでに無かつた作業も始まりました。

生産活動課長 谷口 洋也

工芸会ワークセンター移転開設三十周年記念式典に寄せて

前施設長補佐 小原 熱

工芸会ワークセンター移転開設三十周年記念式典を、五月一日（金）工芸会ワークセンター内で開催させていただきました。今年の記念式典行事は、工芸会が中央区平尾の地より移転開設して三十周年ということもあり、本来であれば保護者の皆様はもとより、地域の皆様にもご参加いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、利用者・職員のみでの式典・バーベキュー大会という形式での開催とさせていただきました。

私も平尾の地から工芸会の移転と共に歩み始めさせていただきましたが、その当時を知る職員は、法人では私だけになってしまい、平尾時代を知る利用者の方々も八十八名中三十名と時代を感じさせられます。

これからも先人の思いを常に忘れず、利用者の皆様、保護者の皆様、地域の皆様に信頼される施設となる様努めてまいります。



野外活動 バイキング昼食会

六月十日（水）近隣宴会場を貸切り、バイキング昼食会を行いました。久しぶりの全体行事でした。当初は四月に熊本城に行く予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、行事自粛、外出・面会禁止など我慢の日々でしたが、緊急事態宣言が解除となり、手指の消毒と十分な対策を講じた上で、密にならないよう二会場に分かれバイキング昼食会を実施しました。利用者の皆さんにとつて待ちに待つた行事で、食事、マジシャンのOGAWAさんによるマジックショーで大盛り上がり！短い時間でしたが利用者の方と共に楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

サービス管理係長 山口 紀之





季節を感じる壁掛け



製作風景と壁飾り



なごみ係では地域で行われる販売会等に向けオリジナル製品の製作を行っています。現在作っているのは木工係で加工された木の壁掛けに季節に合わせた絵や装飾をしています。他にもアクセサリーや小物も作っていますがそれはまた次の機会に！

オリジナル製品紹介

※十月四日（日）に予定されました令和二年度第二十五回福岡市障がい者スポーツ大会は新型コロナウィルス感染症対策により中止となりました。

また、施設実施の行事についても新型コロナウィルスの影響で今後、変更並びに中止になる場合があります。

- ・工芸会・田尻苑合同
レクリエーション大会
- ・社会見学旅行（3グループ）
- ・第二回健康診断、夜間避難訓練
- ・十一月
・工芸会ワークセンターまつり

七月

・夕涼み会

八月

・納涼バスハイク

十月

・工芸会・田尻苑合同
レクリエーション大会

・社会見学旅行（3グループ）

・第二回健康診断、夜間避難訓練

・十一月

・工芸会ワークセンターまつり

令和二年三月三十一日付

手嶋 登美夫さん 退所

令和二年四月一日付

池田 達哉さん 入所

令和二年四月三十日付

田渕川 員也さん 退所

入所

行事予定

利用者入退所

地域貢献活動

三月から四月にかけ新型コロナウィルスが感染拡大しマスク不足が深刻化する中、地域貢献活動の一環として、縫製係で受注・製作していた小学生用マスクを有限会社福田商店様ご協力のもと近隣の小学校・保育園・幼稚園・小学校留守家庭子ども会に寄贈させていただきました。

職員人事異動



聴覚・言語障害者
養護老人ホーム
田尻苑施設長

小原 熱

令和二年七月一日付で、聴覚・言語障害者養護老人ホーム田尻苑施設長の任命を受けました。工芸会在職中は、利用者の皆様をはじめ、保護者の皆様、関係各位の方々には大変お世話になり、今は感謝の気持ちでいっぱいです。福岡ろうあ福祉会に採用していただき、中央区平尾の地より三十年、一職員としてこれまで努めてまいりました。職場の環境は違つても利用者の方々を思う気持ちはこれからも同じです。今後は、工芸会ワークセンターの次の受け皿である田尻苑の充実発展のために努めてまいりますのでよろしくお願ひいたします。

- ・縫製係支援員
(軽作業係支援員)
西崎 博子
- ・縫製係支援員
(なごみ係支援員)
森 智子



森 智子

- ・田尻苑施設長
(工芸会施設長補佐)
小原 熱
- ・施設長補佐
(サービス管理部長)
竹下 貴
- ・サービス管理係長
(縫製係長)
山口 紀之
- ・田尻苑給食係長
(工芸会給食係長)
竹下 奈美
- ・木工係支援員
(なごみ係支援員)
仁科 崇
- ・夜間生活支援員
(縫製係長)
柴田 千鶴
- ・夜間生活支援員
(軽作業係主任)
忠岡 徹
- ・有期契約職員
(なごみ係)
坂本 都

※――内前職

- 令和二年四月二十日付
有期契約職員
(軽作業係)
安倍 ゆかり
- 令和二年五月十八日付
夜間生活支援員
(縫製係支援員)
西 由起子

新規採用

編集者より
異動に伴い、編集担当も変更になりました。見る側だけでも見やすいように、「少しでも見やすいように、読みで頂けるように」と考えます。号数を重ねるごとに成長・変化していくよう努めて参ります。今後とも工芸会ワークセンターたよりをよろしくお願いします。

発行 社会福祉法人 福岡ろうあ福祉会
障害者支援施設 工芸会ワークセンター
〒819-0383

福岡市西区大字田尻 2542番地
TEL 092-806-7774
FAX 092-806-8962
E-mail kougeikai@kougeikai.or.jp
URL <http://www.kougeikai.or.jp>